

●6年制学科のカリキュラムの特色

卒業時の学修成果を明確にするために、広島国際大学薬学部卒業生として期待される能力を策定しました。この能力を段階的に醸成し、なおかつ学生自身がその到達度を確認できるように、長期ルーブリック(道標)に挙げた到達度を可視化する方法を整備しています。その結果、薬学部の教育の水準等を継続的に改善・向上を行う体制が整いました。本学では、医療系総合大学の利点を活かし、専門職連携演習や地域創生・防災危機管理に関する科目が全学必修科目となっており、薬学部の学生も他学部の学生と協働して学修に取り組む機会があります。また、薬学部の臨床系実習では、看護学科と協働してバイタルサインから病態を考えるトレーニングも実施しています。さらに、5年次末の二週間程度の期間を利用して、ノースカロライナ大学での国際実務研修を希望者に向けて実施しており、グローバルな視点で薬学を体験する機会も設けています(昨年はオンラインで実施)。一方、薬学部合格から入学するまでの間、薬学部教員が作成したオリジナル教材を使う入学前教育を行っています。初年次において、高校で学ばなかった理系科目でもスムーズに薬学教育へ移行できるようにするために、講義や補習を充実させています。さらに個々の学生に合わせた指導をするために、少人数の担任制度で対応します。以上のように、本学薬学部では6年間(+α)のケアを推進することによって、地域社会で主体的に活躍する薬剤師を一人でも多く輩出すべく、日々教育を実践しています。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

本学では学生のふるさとで実習を行う「ふるさと実習」を実施しているほか、各実習期間終了後に指導薬剤師をお招きし、実習報告会を開催するなど、事前・事後の研修を行うことで、きめ細かい指導を行っています。

●病院実習先・薬局実習先

中国労災病院、呉医療センター・中国がんセンター 他 43カ所
康仁薬局、オール薬局 他 65カ所

●アドバンスⅢ(臨床実習)

2015年度より開始した現行のカリキュラムでは、実務実習が終了直後から6年前期にかけて、臨床の場において習得した知識・技能について再確認すべく、主に医療薬学研究センター所属の教員が関与する形で、「治療解析」、「応用薬物治療学」、「臨床薬学における専門薬剤師の役割」、「EBMの実践」、「地域保健・公衆衛生・栄養管理・保健行政」、「在宅医療・介護・フィジカルアセスメント」、「医薬品開発と生産」、「医薬品流通と医療に関

する経済学」など独自展開の臨床系選択科目を数多く用意しています。さらに、他学科を含めて本学に在籍する医師免許をお持ちの教員やコメディカルに相当する資格の教員に毎週交代でお越しいただき、「総合医薬科学」という総合科目を展開しています。

●多職種連携教育の具体的な内容

まず1年次において、「専門職連携基礎演習Ⅰ、Ⅱ」という必修科目を設定しています。これらの科目では本学全学科の学生が学科混成でチームを組み、グループワークを展開します。前者の科目は、主にコミュニケーション法を修得した上で、各種専門職の役割について理解する教育が行われます。また、後者の科目は「問題解決能力の基盤を築く」ことを目的に、学生たちの生活の中から抽出された問題をチームで整理し、それらの解決法を立案します。一方、上位学年においては、「専門職連携総合演習Ⅰ、Ⅱ」という演習科目を必修科目として設定しています。上記と同様に学科混成のチームを作り、グループワークを展開します。前者の科目では、各学科で実施している専門実習(主に臨床的な実習を題材にしています)の内容に関して、学科の代表者がリーダーとなって内容を説明した上で、チームのメンバーが相互に実習を体験して内容を理解するという取り組みを行っています。また、後者の科目では、大半の履修者は学科混成チームを結成した後に演習室に集合し、ペーパーペイシャントを題材にケアプランを立案します。一方、それ以外の履修者は、希望する医療機関や介護福祉施設などに出向き、現場における取り組みを体験するとともに、専門職連携の在り方を考える学修を行います。

●多職種連携教育を行う医療施設名

現在は、呉共済病院、広島赤十字・原爆病院、中国労災病院、土谷総合病院などの広島県下の病院施設、広島県下の社会福祉法人の各種施設や江田島市社会福祉協議会を中心とした市内の介護福祉施設などが主な学外研修の場になっています。

●薬剤師国家試験への取り組み

5年次には、それまでに学んだ科目と臨床の繋がり、そして国家試験との関連について学修する機会と設けています。実務実習、卒業研究が実施される中、隙間時間を利用できるシステムを作りました。学生の「学びたい」という要望に応え、基礎薬学の弱点補強をするコンテンツを提供しています。6年次に応用薬学演習と総合薬学演習の科目を設定して、6年間で学修した全分野の内容について、個々の知識を統合させ、振り返り学修する機会を設けています。また、学内教員によるサポートの機会を設けるとともに、

外部講師を招いた講習会も適宜導入し、学生が必要に応じて実力を補強できる体制を整備しています。

●卒業研究について

4年次進級時に研究室配属を行い(概ね一研究室に6~7名配属)、各研究室が指定するテーマに従って研究活動を展開します。本学の卒業研究は三期に分かれており、4年次は後期に卒業研究Ⅰを、5年次は実務実習に向向いていない時期に卒業研究Ⅱを進めています。卒業研究Ⅱが終了した時点で全体を振り返り、全体的な研究成果を纏める作業に取り掛かります。そして、6年次前期の卒業研究Ⅲにおいて、取り纏めた成果から卒業論文を作成し、卒業研究発表会も実施して成果を公表することにしています。卒業研究発表会での行動や卒業論文の完成度の評価は、前期中に各教員が分担してルーブリック評価表を用いて実施しています。

●入試の変更点

昨年度より変更はありません。

●入試に合格するためのアドバイス

新しい時代が求める高度で専門的な知識や技術を修得し、豊かな人間性を備えた薬の専門家をめざして人々の健康づくりに貢献したいという意志を持っていることが大切です。本学の入試は、総合型選抜から一般選抜後期日程まで多彩な選抜制度が設けられ、受験機会は13回。一般選抜前期日程は全国最大16都市に試験会場を設置していますので、あなたの身近な場所で受験することが可能です。(詳しくは「2024広島国際大学入試ガイド」をご確認ください。)各選抜の特徴を知り、自分に合った選抜方式でチャレンジしてください。

試験については、基礎的学力を問う問題が多く、過去問題などで問題の傾向を把握して試験に臨んでください。なお、7月以降のオープンキャンパスに参加された高校3年生の来場者には赤本を無料で配付します(数量限定)

●過去問を公開しておられますか

<http://www.hirokoku-u.ac.jp/admission/examination/past/>

●面接や小論文について教えてください

面接
学科により面接方法(個別、集団)が異なります。基本的には本学への入学意欲を中心に面接を行いますので、高校で頑張った活動や入学後にとのようなことを頑張りたいかなど、本学への入学意欲を答えることができるようになっていくことが重要です。また、現時点で将来どのような薬剤師になりたいかを答えられるように準備

重要です。また、現時点で将来どのような薬剤師になりたいかを答えられるように準備しておきましょう。

小論文

<http://www.hirokoku-u.ac.jp/admission/examination/past/>

●大学独自の奨学金制度

■広島国際大学学内奨学金(給付制)：全学科全学年対象。学修意欲があり、日本学生支援機構等の貸与制奨学生であり、かつ経済的に修学困難と認められる学部生。

■広島国際大学学園創立90周年記念奨学金(給付制)：2年次以上対象。学業・人物ともに優秀な学部生。

■広島国際大学学園創立100周年記念奨学金(給付制)：学修意欲があり、最短修業年限で卒業できる見込みがある者で、日本学生支援機構や地方公共団体等の貸与制奨学生であり、経済的に就学困難と認められる学部生。

■広島国際大学サポーターズ奨学金(給付制)：学修意欲があり、最短修業年限で卒業できる見込みがある者で、日本学生支援機構や地方公共団体等の貸与制奨学生であり、経済的に就学困難と認められる学部生。

■広島国際大学教育ローン金利助成奨学金(給付制)：本学の提携先金融機関である広島銀行、ジャックス、オリエントコーポレーションの教育ローンを利用してしている学生。

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

〈アパート・マンション：ワンルーム〉

32,000円～60,000円

〈大学所有学生寮〉

40,000円又は42,000円

●オープンキャンパスの日程

6月オープンキャンパス

2023年6月4日

7月オープンキャンパス

2023年7月22日 呉キャンパス限定

2023年7月23日 東広島キャンパス限定

8月オープンキャンパス

2023年8月19日

3月オープンキャンパス

2024年3月24日